

# 環境経済委員会資料

## 第3次豊橋市産業戦略プランの策定について

令和元年11月20日

産業部

## **はじめに**

本市では、平成 23 年 3 月に農業・工業・商業など本市産業の各分野の戦略方針をまとめた「豊橋市産業戦略プラン」を策定し、5 年毎、2 期にわたり本市産業の持続的な発展に向けた取組みを進めてまいりました。

現行の「第 2 次豊橋市産業戦略プラン」は、令和 2 年度末をもって計画期間が終了となり、また、上位計画である「第 5 次豊橋市総合計画」も終了となります。令和 3 年度からは、新たなまちづくりの目標と政策体系による「第 6 次豊橋市総合計画」がスタートすることになり、産業戦略プランも第 3 次の策定に向けて作業を進めているところです。

この資料は、「第 3 次豊橋市産業戦略プラン」の策定作業が令和 2 年度から本格化するのに先立ち、現状認識を新たにするため、本市産業の状況の推移や施策の進捗状況をデータで整理するとともに、今後の策定作業の方針を示すものです。

## 目 次

1	データから見る本市の産業	
1-1	分野別	
(1)	農業	4
(2)	工業	6
(3)	商業	9
(4)	観光	11
(5)	港湾	13
1-2	総合	
(1)	雇用・労働	16
(2)	市内総生産	18
2	第2次豊橋市産業戦略プラン指標の推移	
(1)	産業戦略の全体目標	19
(2)	戦略別の主な取組みの目標	22
3	策定の方針	23
4	今後の進め方	
(1)	策定体制	23
(2)	策定スケジュール	24

# 1 データから見る本市の産業

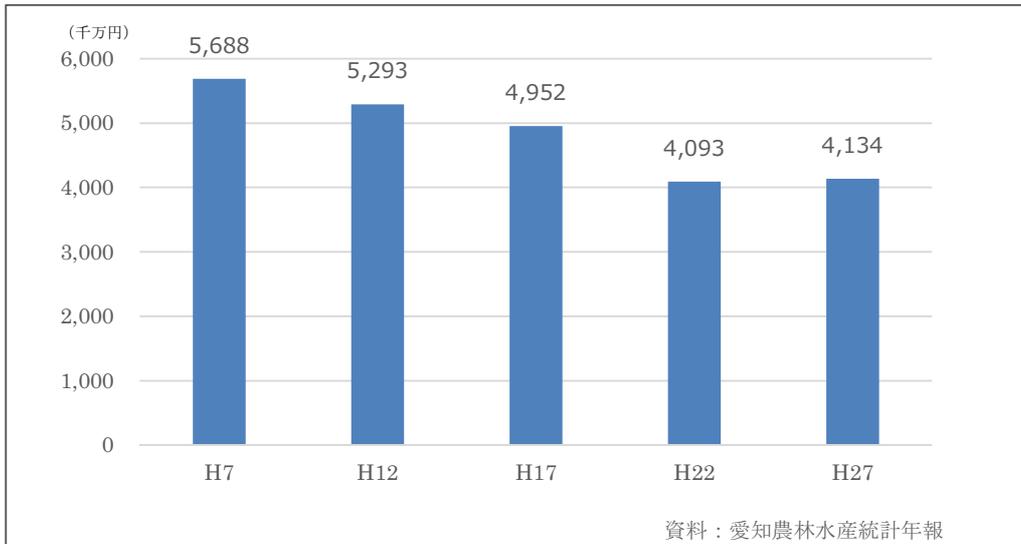
## 1-1 分野別

### (1) 農業

農業産出額及び経営耕地面積は、農地転用や農業従事者の高齢化による離農、後継者不足などにより減少傾向にあります。

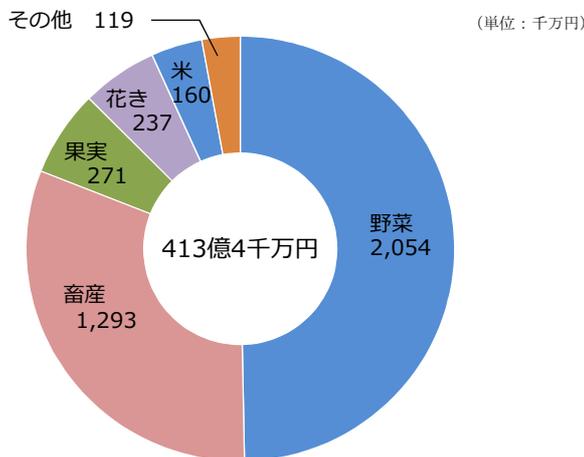
また、販売農家戸数も減少傾向が続いていますが、1戸あたりの農業産出額は増加傾向にあり、経営の効率化や大規模化による生産性の向上に向けた動きも見られます。

#### ① 農業産出額の推移



農業産出額は、平成 22 年まで減少傾向が続いていましたが、27 年は増加に転じ 413 億 4 千万円で、本市は市町村別で県内第 2 位、全国第 10 位となっています。品目別で見ると、野菜が 205 億 4 千万円（構成比 49.7%）で最も多く、次いで養豚をはじめとする畜産が 129 億 3 千万円（同 31.3%）となっており、この 2 品目で全体の 80%以上を占めています。

#### ○平成 27 年豊橋市農業産出額の内訳（推計）

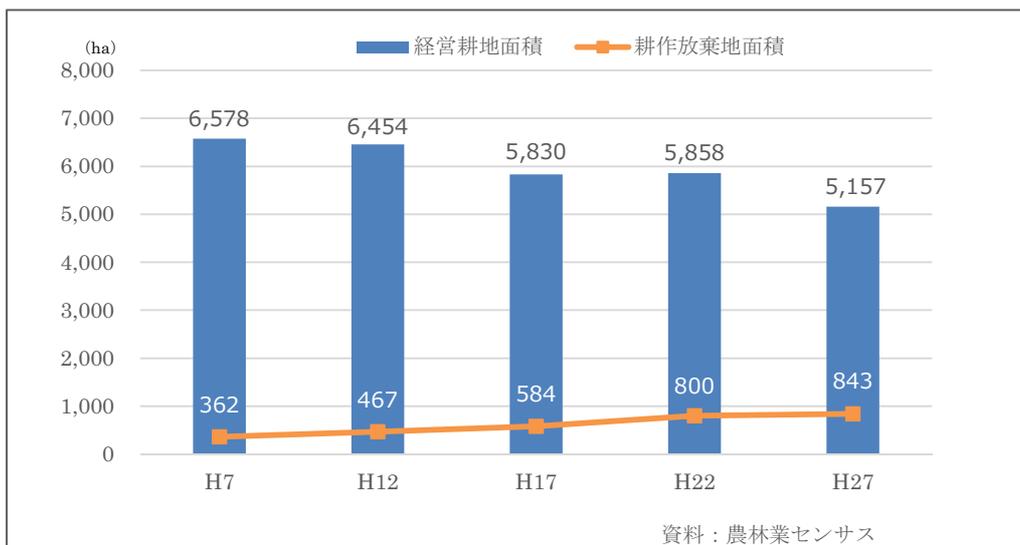


#### ○JA 豊橋と豊橋温室農協の 主な取扱品目と販売高（平成 27 年度）

品目	金額 (千万円)
キャベツ (JA 豊橋)	407
ミニトマト (JA 豊橋)	292
トマト (JA 豊橋)	274
いちご (JA 豊橋)	94
肉豚 (JA 豊橋)	104
子牛 (JA 豊橋)	70
柿 (JA 豊橋)	65
大葉 (豊温)	483
花穂 (豊温)	72
小菊 (豊温)	69

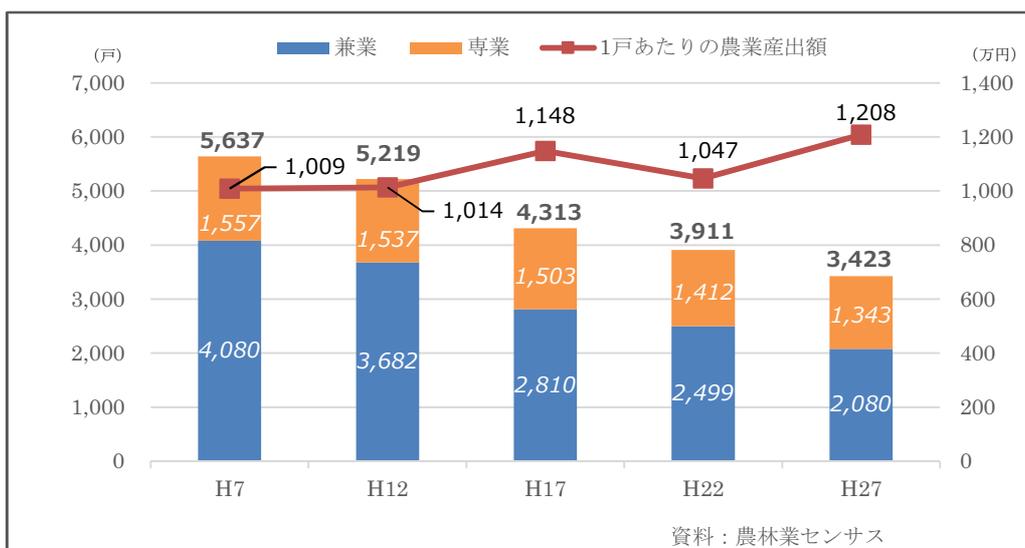
資料：豊橋農業協同組合「第 19 回協同のまとめ（通常総代会資料）」  
豊橋温室園芸農業協同組合「第 46 回総会資料」

## ② 経営耕地面積及び耕作放棄地面積の推移



経営耕地面積は、農地転用や耕作放棄地の拡大などにより年々減少し、平成27年は5,157haでした。また、耕作放棄地は農業従事者の高齢化による離農や後継者不足などにより増加しています。

## ③ 販売農家戸数と1戸あたりの農業産出額の推移



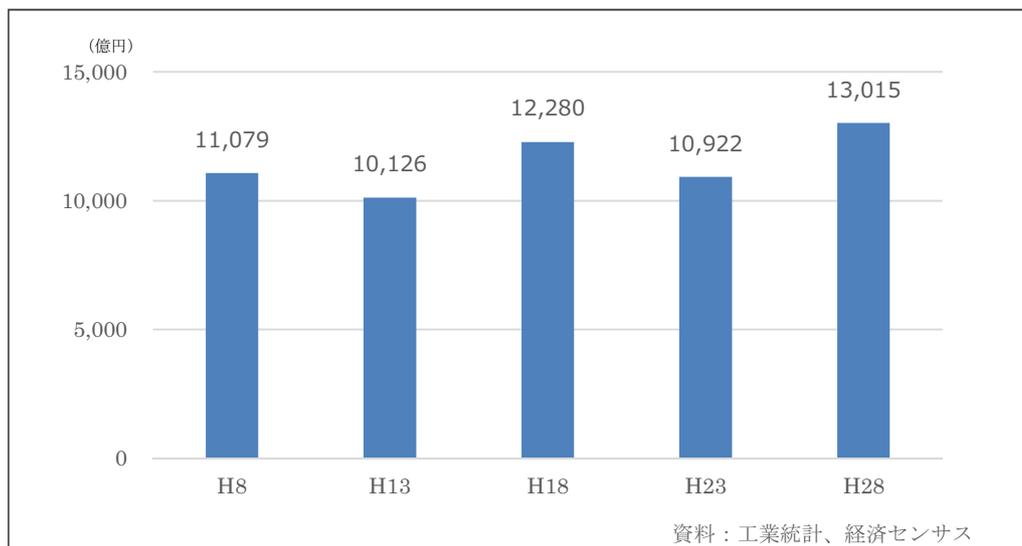
販売農家戸数も経営耕地面積と同様に高齢化による離農、後継者不足により、平成7年と27年の比較では、39.3% (2,214戸) 減少しており、平成27年は3,423戸でした。そのうち、専業農家は39.2% (1,343戸)、兼業農家は60.8% (2,080戸) となっており、兼業農家が専業農家を大きく上回っていますが、専業農家の割合が徐々に増加してきています。また、販売農家戸数は減少しているものの、1戸あたりの農業産出額は増加傾向にあり、経営の効率化の動きも見られます。

## (2) 工業

製造品出荷額等は、景気の影響による年ごとの変動はあるものの、増加傾向にあります。一方で、事業所数や従業者数は減少傾向です。

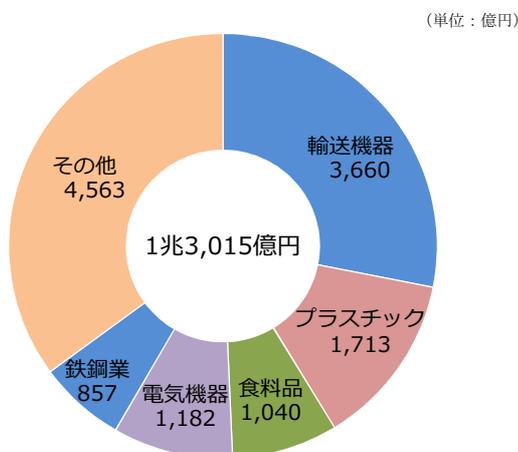
また、業種別製造品出荷額等の推移を見ると、輸送機器、プラスチック、食料品、電気機器、鉄鋼業の5業種で本市全体の6割以上のシェアを占めており、本市産業の特長である多様な業種構造を示しています。

### ① 製造品出荷額等の推移

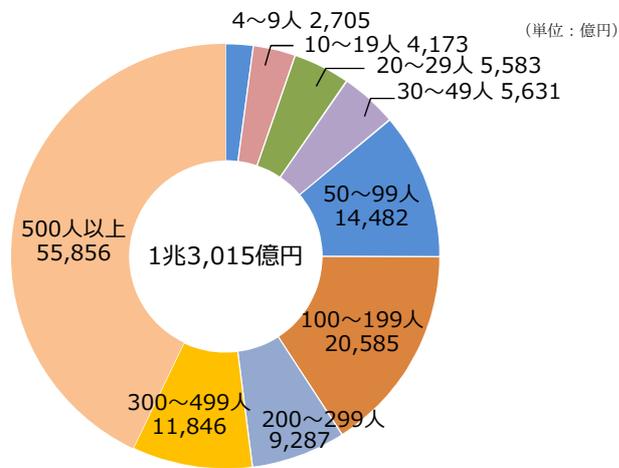


製造品出荷額等は、景気の影響による年ごとの変動はあるものの、増加傾向にあり、平成28年は1兆3,015億円でした。製造品出荷額等が全国第1位を誇る愛知県において、本市は県内第11位に位置しています。業種別で見ると、輸送機器が最も多く3,660億円(構成比28.1%)、次いでプラスチックが1,713億円(同13.2%)、食料品が1,040億円(同8.0%)、電気機器が1,182億円(同9.1%)、の順となっています。また、従業者規模別では、事業所数の97.7%を占める従業者数4~299人の中小規模事業所が、全体の48.0%(6,245億円)を占めています。

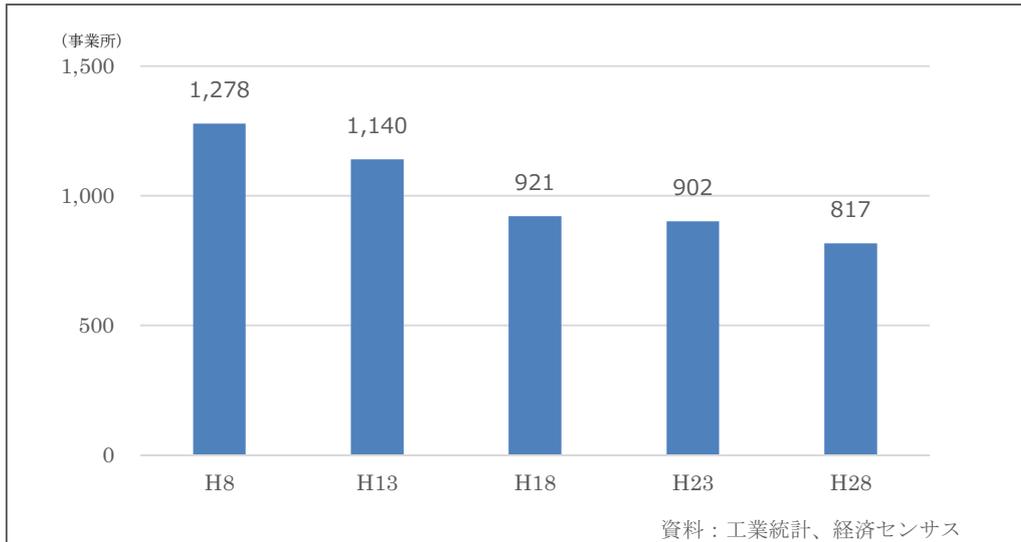
### ○平成28年業種別製造品出荷額等



### ○平成28年従業者規模別製造品出荷額等

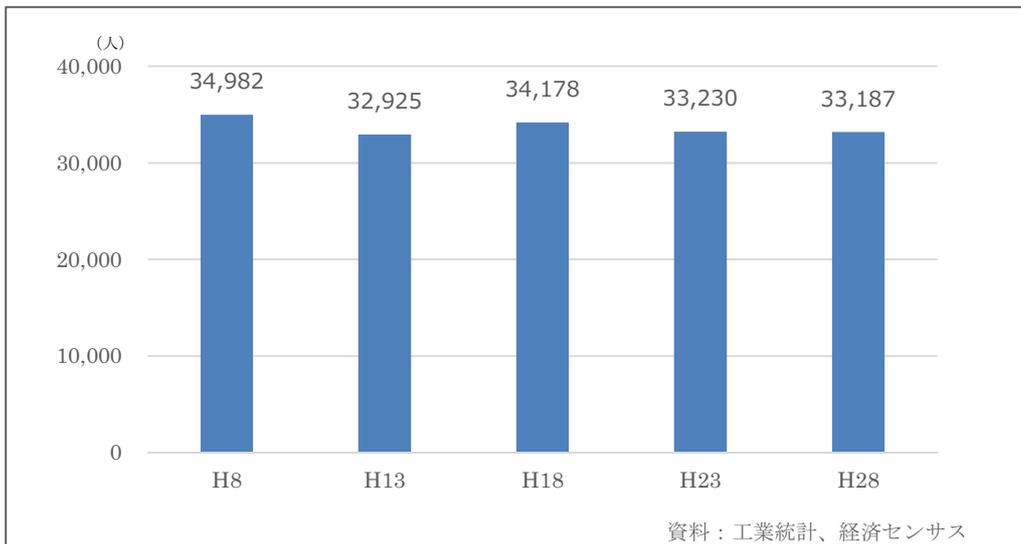


## ② 事業所数の推移



事業所数は、減少傾向が続いており、平成8年と28年の比較では、36.1%（461事業所）減少し平成28年は817事業所でした。業種別で見ると、ほとんどの業種で減少しており、特に木材同製品で68.6%（72事業所）、金属製品で41.0%（57事業所）、食料品で38.7%（67事業所）と大きく減少しています。また、規模別で見ると、従業者数4～299人の中小規模事業所で465事業所減少しており、さらにそのほとんどが従業者数4～19人の小規模事業所によるものです。一方で、従業者数300人以上の大規模事業所は4事業所増加し19事業所となっています。

## ③ 従業者数の推移



従業者数は、減少傾向が続いていたものの、平成28年は3万3,187人で、回復基調にある景気の状態から、底入れしたと見られます。業種別で見ると、輸送機器が最も多く8,191人（構成比24.7%）、次いでプラスチックが4,675人（同14.1%）、食料品が4,071人（同12.3%）、電気機器が3,513人（同10.6%）の順となっており、製造品出荷額等と同様の構成となっています。規模別で見ると、従業者数4～299人の中小規模事業所が61.2%（20,299人）で、全体の半数以上を占めています。事業所数と同様に、従業者数の減少は主に従業者数4～19人の小規模事業所によるものです。一方、従業者数300人以上の大規模事業所の中でも特に従業者数500人以上の事業所では、従業者数が増加しています。

#### ④ 中小規模事業所の製造品出荷額等・事業所数・従業者数の推移

	H8	H13	H18	H23	H28
製造品出荷額等 (億円)	5,706	5,066	5,574	4,998	6,245
事業所数 (事業所)	1,263	1,125	903	882	798
従業者数 (人)	24,580	22,894	22,071	20,456	20,299

資料：工業統計、経済センサス

従業者数 4～299 人の中小規模事業所の製造品出荷額等・事業所数・従業者数は、平成 8 年と 28 年の比較で見ると、事業所数は 36.8% (465 事業所) の減少、従業者数は 17.4% (4,281 人) の減少、製造品出荷額等は 9.4% (539 億円) の増加となっており、中小企業の事業所及び従業者あたりの生産性が高まっていると推測できます。

#### ⑤ 業種別製造品出荷額等の推移

上段：金額 (億円) 下段：構成比 (%)

区分	H8	H13	H18	H23	H28
輸送機器	2,549 (23.0)	2,696 (26.6)	3,973 (32.4)	3,027 (27.6)	3,660 (28.1)
プラスチック	1,660 (15.0)	1,412 (13.9)	1,579 (12.9)	1,779 (16.2)	1,713 (13.2)
食料品	1,106 (10.0)	1,009 (10.0)	1,038 (8.5)	1,002 (9.1)	1,040 (8.0)
電気機器	1,219 (11.0)	1,169 (11.5)	1,097 (8.9)	945 (8.6)	1,182 (9.1)
鉄鋼業	781 (7.0)	632 (6.2)	1,046 (8.5)	859 (7.8)	857 (6.6)
その他	3,764 (34.0)	3,208 (31.8)	3,547 (28.9)	3,348 (30.5)	4,563 (35.1)
合計	11,079	10,126	12,280	10,960	13,015

資料：工業統計、経済センサス

業種別製造品出荷額等の構成比を見ると、輸送機器、プラスチック、食料品、電気機器、鉄鋼業の 5 業種で本市全体の 6 割以上のシェアを占めており、平成 8 年から 28 年の間では、構成比や伸び率に大きな差がなく安定しています。また、従業者数 300 人以上の大規模事業所のほとんどがこの上位業種に属しています。県内他都市と比べると、輸送機器の比率が低く、プラスチックや食料品、電気機器、鉄鋼業などの比率が相対的に高くなっており、この多様な業種構造が本市産業の特長となっています。

### (3) 商業

調査年により集計対象が異なるため、調査年ごとの数値は単純に比較できませんが、年間商品販売額、商店数及び従業者数は、全体として減少傾向にあった中、近年は増加傾向にあります。

年間商品販売額等の減少の要因は、モータリゼーションの定着によるロードサイド型大型店舗の増加や近隣市への大型商業施設の進出、インターネット通販の普及などにより、市民の消費行動が変わってきているためと考えられます。

#### ① 年間商品販売額の推移（卸売業・小売業）

(億円)

調査年	卸売業	小売業	合計
H 9	11,440	4,622	16,062
H 11	11,309	4,590	15,899
H 14	7,390	4,086	11,476
H 16	7,977	4,005	11,982
H 19	8,243	4,181	12,424
H 24	6,594	3,164	9,758
H 26	8,781	3,315	12,096
H 28	6,990	3,909	10,899

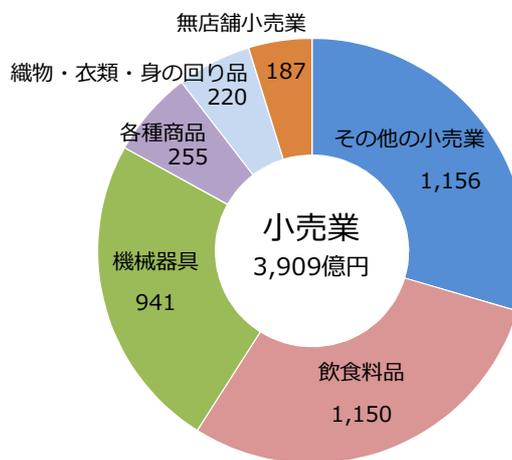
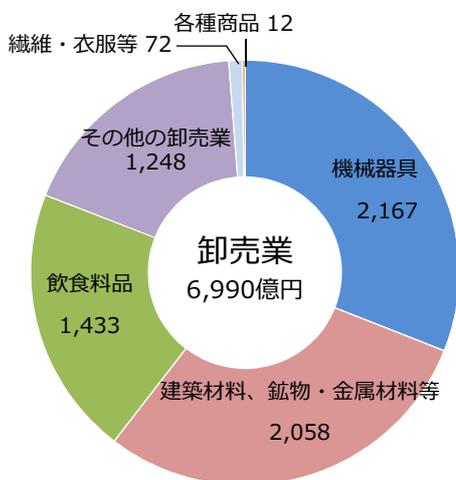
資料：商業統計、経済センサス

※集計対象が異なることがあるため、調査年ごとの数値は単純に接続しない。

年間商品販売額は、卸売業・小売業ともに減少傾向が続いていましたが、平成26年以降は持ち直し、平成28年は1兆899億円でした。業種別で見ると、卸売業では、機械器具卸売業が最も多く2,167億円（構成比31.0%）、次いで建築材料、鉱物・金属材料等卸売業2,058億円（同29.4%）、飲食料品卸売業1,433億円（同20.5%）の順となっています。また、小売業では、医薬品・化粧品小売業などのその他の小売業が最も多く1,156億円（構成比29.6%）、次いで飲食料品小売業1,150億円（同29.4%）、機械器具小売業941億円（同24.1%）となっています。

#### ○平成28年業種別年間商品販売額の内訳

(単位：億円)



資料：経済センサス

## ② 商店数の推移（卸売業・小売業）

(店)

調査年	卸売業	小売業	合計
H 9	1,402	3,996	5,398
H 11	1,401	3,948	5,349
H 14	1,336	3,606	4,942
H 16	1,258	3,374	4,632
H 19	1,124	3,159	4,283
H 24	946	2,269	3,215
H 26	877	2,168	3,045
H 28	963	2,354	3,317

資料：商業統計、経済センサス

※集計対象が異なることがあるため、調査年ごとの数値は単純に接続しない。

商店数は、卸売業・小売業ともに減少傾向が続いていましたが、平成 28 年は増加に転じ 3,317 店でした。業種別で見ると、卸売業では機械器具卸売業が最も多く 244 店（構成比 25.3%）、次いで建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 237 店（同 24.6%）、飲食料品卸売業 217 店（同 22.5%）の順となっています。また、小売業では、医薬品・化粧品小売業などのその他の小売業が最も多く 826 店（構成比 35.1%）、次いで飲食料品小売業 685 店（同 29.1%）、機械器具小売業 404 店（同 17.2%）の順となっており、卸売業・小売業ともに年間商品販売額と同様の構成となっています。

## ③ 従業者数の推移（卸売業・小売業）

(人)

調査年	卸売業	小売業	合計
H 9	12,845	21,649	34,494
H 11	13,109	24,522	37,631
H 14	12,387	23,425	35,812
H 16	11,228	23,846	35,074
H 19	10,837	23,210	34,047
H 24	8,330	17,293	25,623
H 26	8,738	16,520	25,258
H 28	9,260	19,406	28,666

資料：商業統計、経済センサス

※集計対象が異なることがあるため、調査年ごとの数値は単純に接続しない。

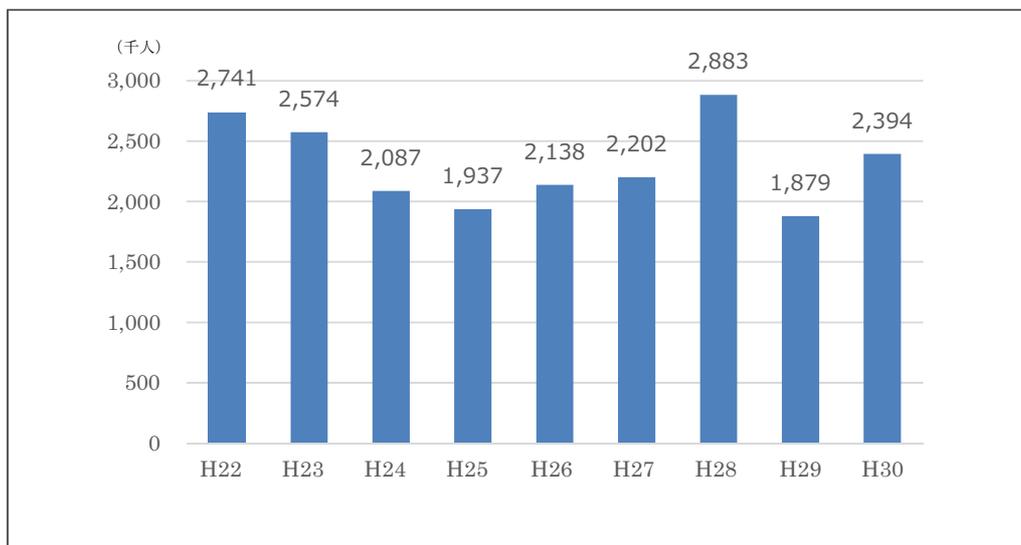
従業者数は、卸売業・小売業ともに減少していましたが、平成 28 年は増加に転じ 28,666 人でした。業種別で見ると、卸売業では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が最も多く 2,417 人（構成比 26.1%）、次いで飲食料品卸売業 2,342 人（同 25.3%）、機械器具卸売業 2,200 人（同 23.8%）の順となっています。小売業では飲食料品小売業が最も多く 7,197 人（構成比 37.1%）、次いで、医薬品・化粧品小売業などのその他の小売業 6,518 人（同 33.6%）、機械器具小売業 2,589 人（同 13.3%）の順となっています。

## (4) 観光

観光入込客数は、大型イベントの実施や天候の影響などで増減はあるものの、200万人から300万人の間で推移しています。

また、市内宿泊者数はビジネスでの利用の増加に加え、中国を中心とした海外からのツアー客や近年増えつつある外国人個人観光客の利用などにより増加傾向が続いています。

### ① 観光入込客数の推移

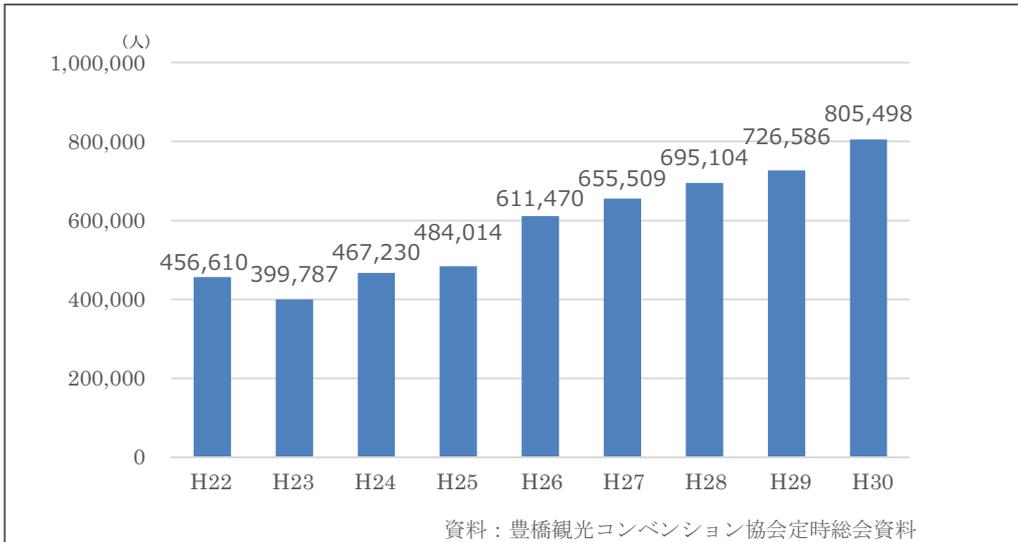


観光入込客数は、平成28年の海フェスタの開催や29年の豊橋まつりの雨天中止など、大型イベントの実施や天候の影響などで増減はあるものの、200万人から300万人の間で推移しており、平成30年は239万人でした。平成30年の内訳を見ると、ナイトZOOや人気アニメとのコラボレーションイベントの実施などにより、通常年度で過去最高の来場者数となった豊橋総合動植物公園がおよそ85万人と最も多く、次いで豊橋まつりの67万人、賀茂しょうぶ園の花しょうぶまつりの18万人と続いています。

### ○平成30年主な観光レクリエーション資源・施設の利用者数

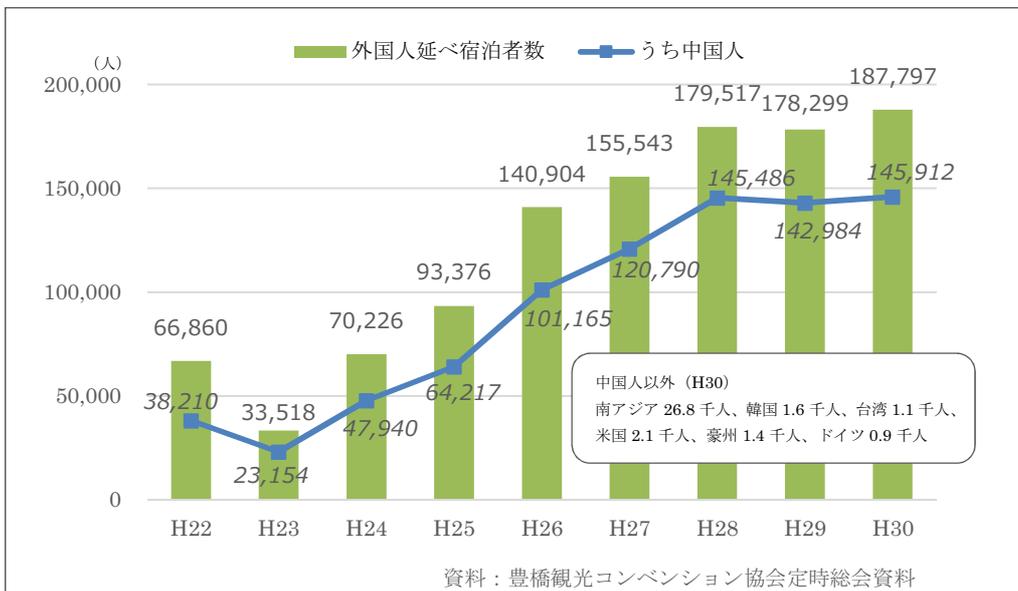
観光レクリエーション資源・施設名	利用者数 (千人)
豊橋総合動植物公園	848
豊橋まつり	670
花しょうぶまつり (賀茂しょうぶ園)	180
美術博物館	155
豊橋祇園祭 (吉田神社)	110
視聴覚教育センター・地下資源館	85
炎の祭典	56

## ② 市内宿泊施設宿泊者数の推移



市内宿泊者数は、ビジネス・観光利用ともに順調に増加しており、平成 30 年は 81 万人でした。景気回復によるビジネス利用の増加に加え、中国を中心とした海外からのツアー客や近年増えつつある外国人個人観光客の利用などにより増加傾向が続いています。利用目的別の内訳はビジネスが約 65%、観光が約 35%となっています。

## ③ 外国人の市内宿泊施設宿泊者数の推移



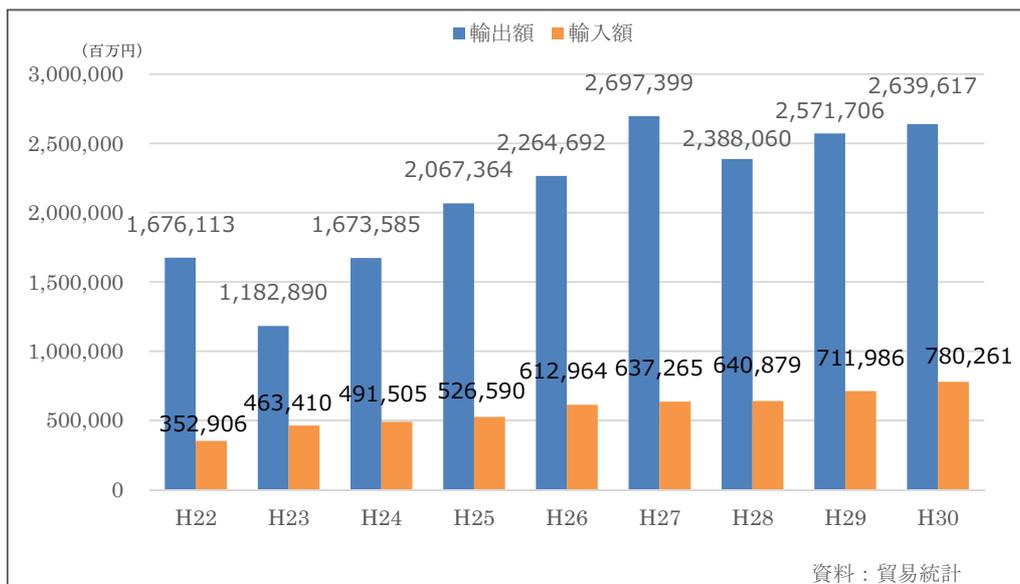
外国人宿泊者数の推移は、国が 2020 年に訪日外国人数を 4,000 万人にする目標を掲げていることに加え、本市もインバウンド施策に力を入れており、順調に増加しています。国別の内訳では中国人が約 8 割を占めていますが、近年では、インドネシアなど ASEAN 地域からの個人観光客も増加しています。

## (5) 港湾

三河港の貿易金額は輸出額、輸入額ともに増加傾向が続いています。また、完成自動車の輸入については、金額・台数ともに平成5年から26年連続で日本一を記録し、輸出についても全国有数の金額・台数を誇っています。

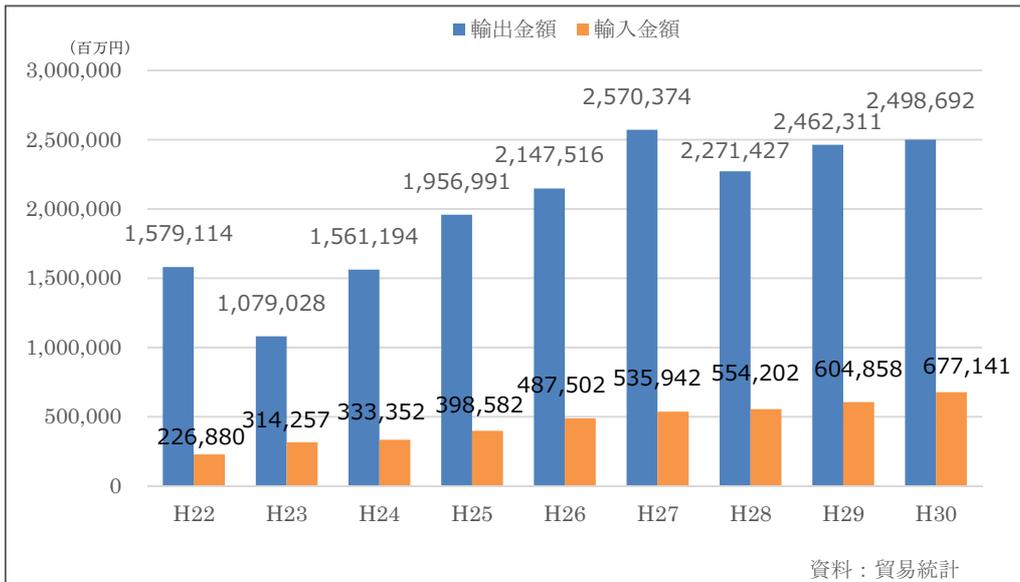
一方、コンテナ取扱数量については、平成25年からのロシア・ウラジオストク港との新規航路開設により26年に過去最高を記録しましたが、同航路が27年に廃止されてからは、以前の水準まで減少しています。

### ① 三河港貿易金額の推移



貿易金額は、輸出入額ともに、世界経済の影響などによる年ごとの変動はあるものの増加傾向が続いており、平成30年は輸出額が2兆6,396億円、輸入額が7,803億円でした。品目別金額（豊橋税関速報値）では、輸出入額ともに完成自動車がトップで、輸出額では2兆4,987億円（構成比94.7%）、輸入額では6,771億円（同86.8%）といずれも輸出入額の大半を占め、世界的な自動車港湾としての三河港の特長を示しています。

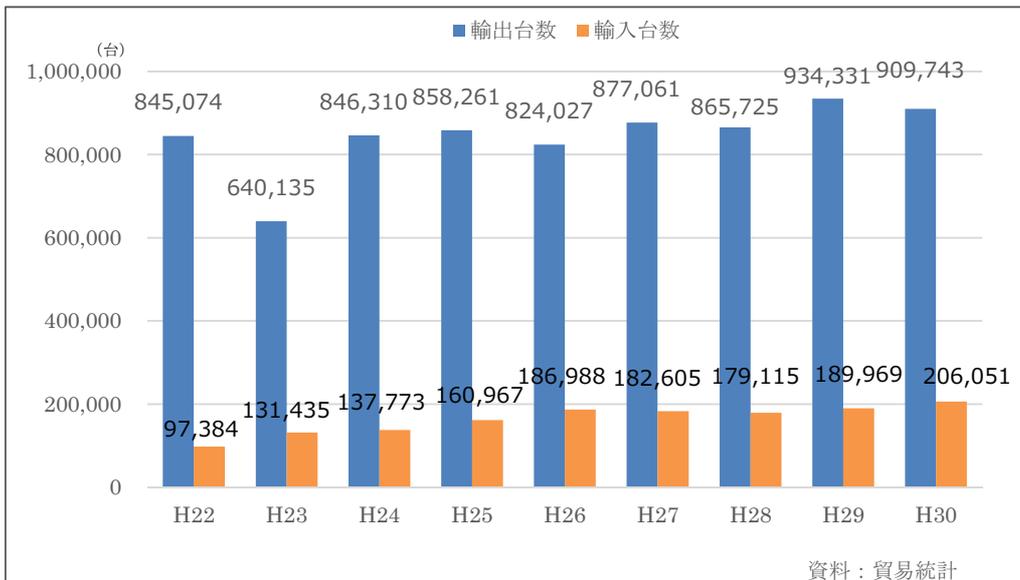
## ② 三河港完成自動車の取扱推移（金額）



完成自動車の輸出金額は、世界経済の影響などによる年ごとの増減がありますが、平成29年からは増加傾向にあり、30年は2兆4,987億円で、7年連続で名古屋港に次ぐ全国第2位となっています。

完成自動車の輸入金額は、国内景気の影響による変動はあるものの増加傾向にあり、平成30年は過去最高の6,771億円となりました。また、全輸入完成自動車輸入金額の47.4%を占め、26年連続で全国第1位となっています。

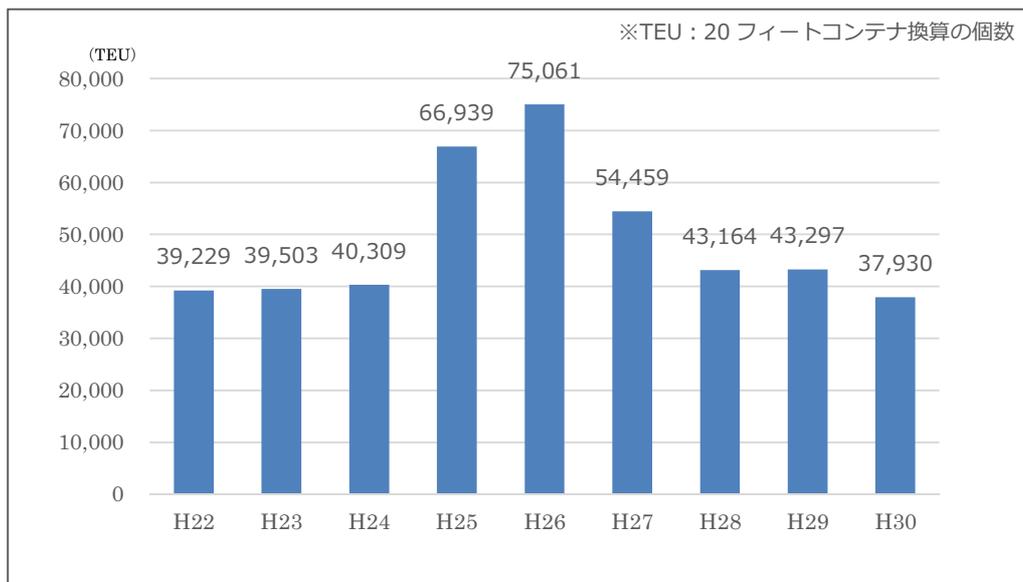
## ③ 三河港完成自動車の取扱推移（台数）



完成自動車の輸出台数は、世界経済の影響などで年ごとに増減があり、平成30年は909,743台と前年よりやや減少となりましたが、2年連続で名古屋港に次いで全国第2位となっています。

完成自動車の輸入台数は順調に伸び続けて、平成30年は初めて20万台を突破し過去最高の206,051台となりました。また、全輸入完成自動車台数の53.2%を占め、輸入金額とともに26年連続で全国第1位となっています。

#### ④ 三河港コンテナ取扱実績の推移



コンテナ取扱実績は、ロシア航路が就航していた平成 25 年から 27 年を除き、世界経済の影響などによる年ごとの変動はあるものの 40,000TEU 前後で推移していましたが、平成 30 年は主要荷主の流通経路見直しに伴う航路廃止などの影響により、前年比で 12.3% (5,367TEU) 減少し、37,930TEU でした。

#### ○定期コンテナ外貿易航路（令和元年 10 月現在）

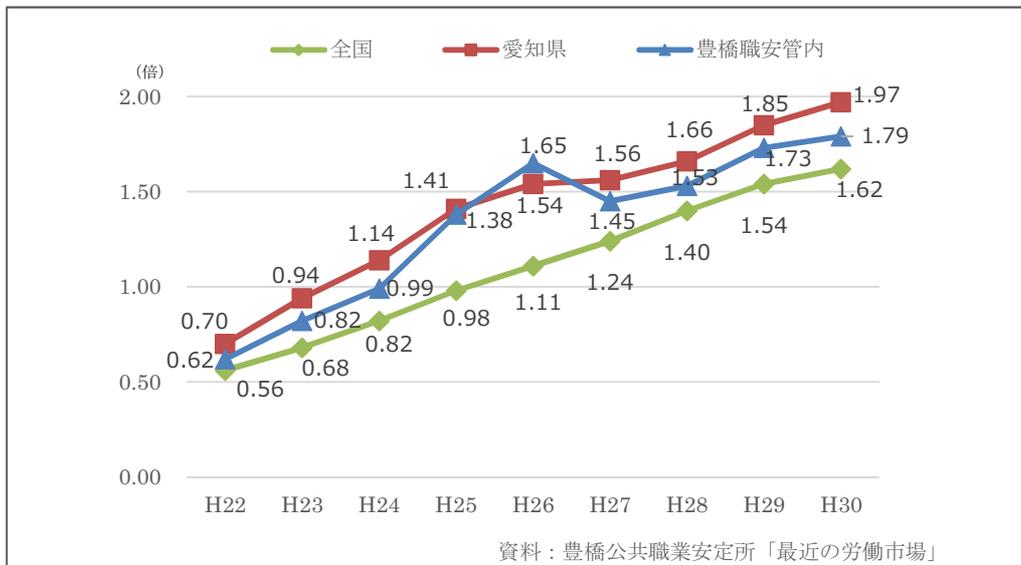
航路	船会社	寄港地	寄港回数
中国・ベトナム	SITC Container Lines Co.,Ltd. (新海豊集装箱運輸有限公司)	ハイフォン/上海/大阪/神戸/名古屋/四日市/豊橋/釜山/上海/香港/ハイフォン	週 1 回 (火)
韓国	KOREA MARINE TRANSPORT CO.,LTD. (高麗海運)	蔚山/釜山/清水/名古屋/四日市/豊橋/蔚山/	週 1 回 (土)
韓国	Heung-A Shipping Co.,Ltd. (興亜海運)	蔚山/釜山/東京/横浜/名古屋/豊橋/蔚山/	週 1 回 (水)
韓国	Pan Continental Shipping Co.,Ltd. (汎洲海運)	蔚山/釜山/清水/東京/豊橋/四日市/名古屋/蔚山/	週 1 回 (木)

## 1-2 総合

### (1) 雇用・労働

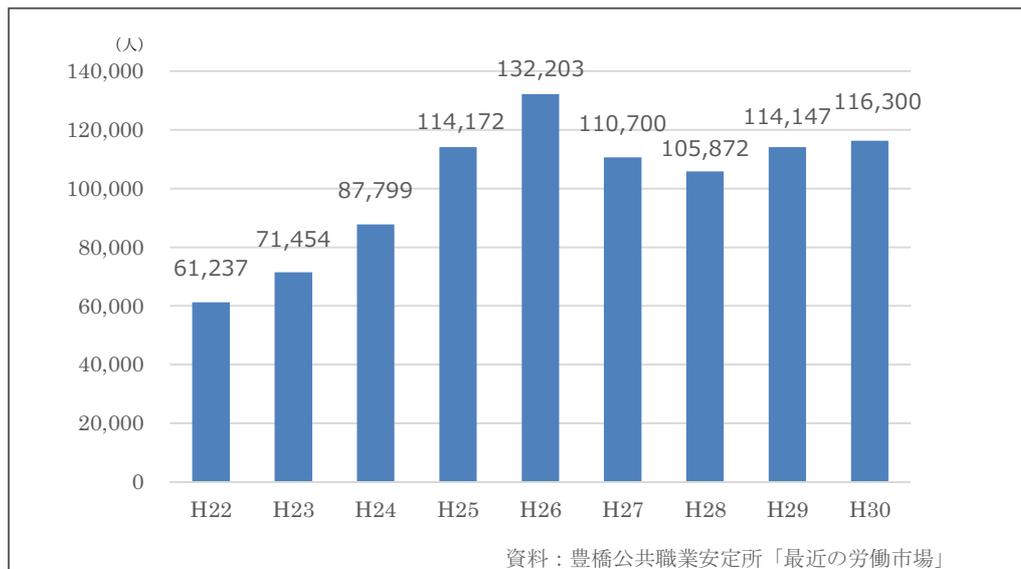
有効求人倍率は、全体として上昇傾向が続いており、本市は愛知県平均より低いものの全国平均よりも高い水準で推移しています。リーマンショック以降の厳しい雇用情勢から有効求人数は大幅に回復したものの、有効求職者数は減少を続けており、県内及び全国と同様に本地域においても深刻な人手不足の状況です。

#### ① 有効求人倍率の推移



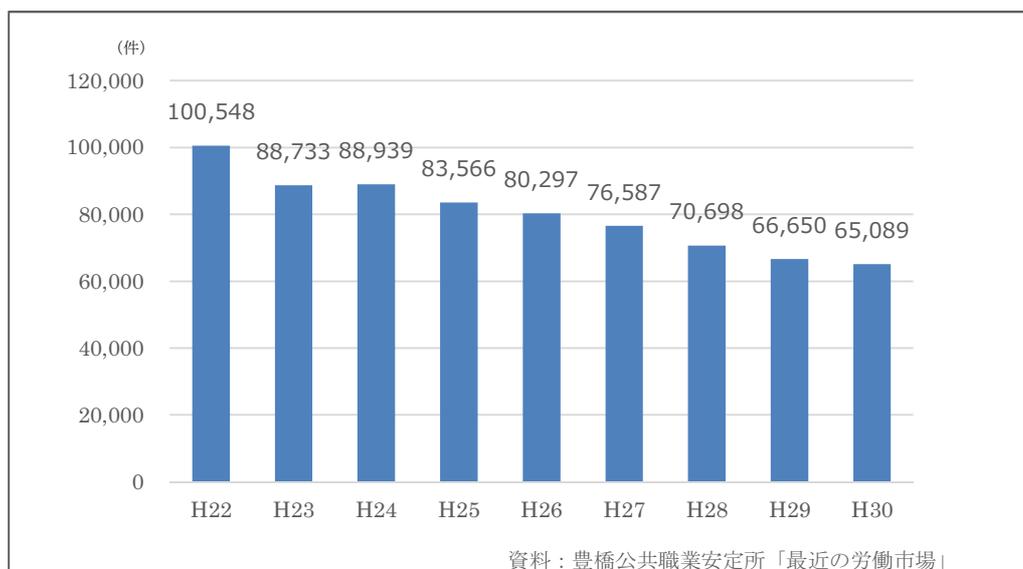
豊橋公共職業安定所管内の有効求人倍率は、上昇傾向が続いており、平成30年度は1.79倍で、愛知県の1.97倍よりは低いものの、全国平均の1.62倍を上回っています。

#### ② 有効求人数（豊橋公共職業安定所管内）



有効求人数は、平成27年度から28年度にかけて製造業やサービス業などで減少したものの、景気回復により全体としては増加傾向にあり、平成30年度は116,300人でした。

### ③ 有効求職者数（豊橋公共職業安定所管内）



有効求職者数は、雇用情勢の改善により減少傾向にあり、平成 30 年度は 65,089 件でした。平成 22 年度と 30 年度の比較では、35.3% (35,459 件) 減少し、それに伴い職業紹介件数は 63.3% (27,424 件) の減少、就職件数は 27.2% (1,813 件) の減少となっています。

### ④ 産業大分類別の従業者数上位 5 業種の推移

上段：業種 下段：従業者数 (人)

順位	S61	H3	H8	H13	H18	H24	H28
1	卸売・小売業・飲食店 46,219	卸売・小売業・飲食店 50,263	卸売・小売業・飲食店 53,100	卸売・小売業・飲食店 51,560	製造業 38,286	製造業 37,191	製造業 36,463
2	製造業 41,460	製造業 45,498	製造業 45,624	製造業 39,647	卸売・小売業 37,171	卸売・小売業 34,376	卸売業・小売業 34,986
3	サービス業 23,495	サービス業 28,119	サービス業 32,340	サービス業 34,012	サービス業 18,360	医療、福祉 16,110	医療、福祉 18,243
4	建設業 12,223	建設業 13,047	建設業 13,970	建設業 12,486	飲食店・宿泊業 13,470	宿泊業・飲食サービス業 14,729	宿泊業・飲食サービス業 14,890
5	運輸・通信業 6,628	運輸・通信業 7,675	運輸・通信業 8,953	運輸・通信業 7,092	医療、福祉 12,149	サービス業 11,946	サービス業 14,237

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス

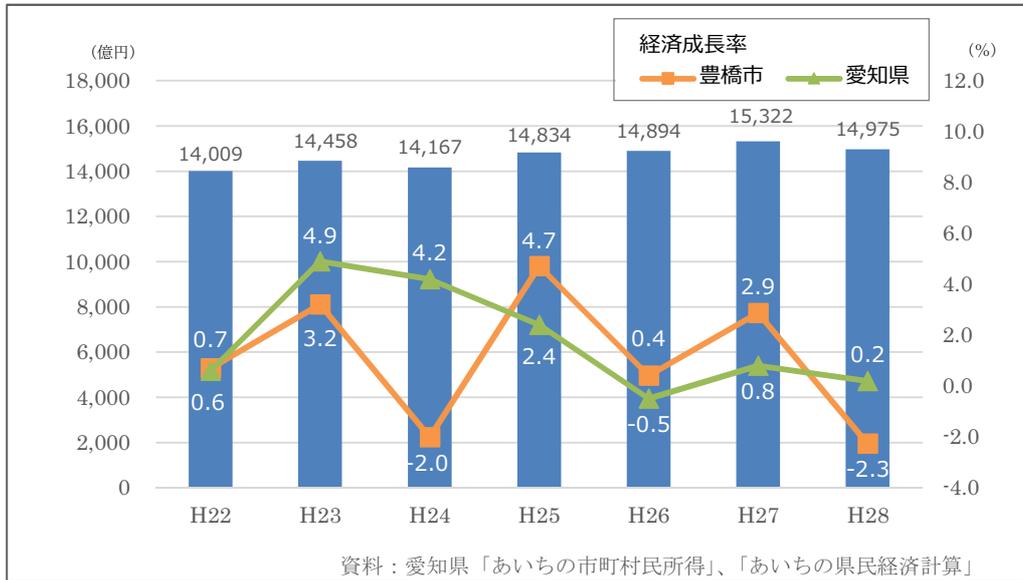
※日本標準産業分類の改訂により、調査年ごとの業種の内訳は単純に接続しない。

産業大分類別の従業者数の推移を見ると、平成 18 年からそれまで上位に入っていなかった医療・福祉が 5 位以内に入るようになりました。サービス業は平成 24 年以降減少していますが、近年の新規求人数が減少傾向にあることから、従業者数も減少していると思われます。

## (2) 市内総生産

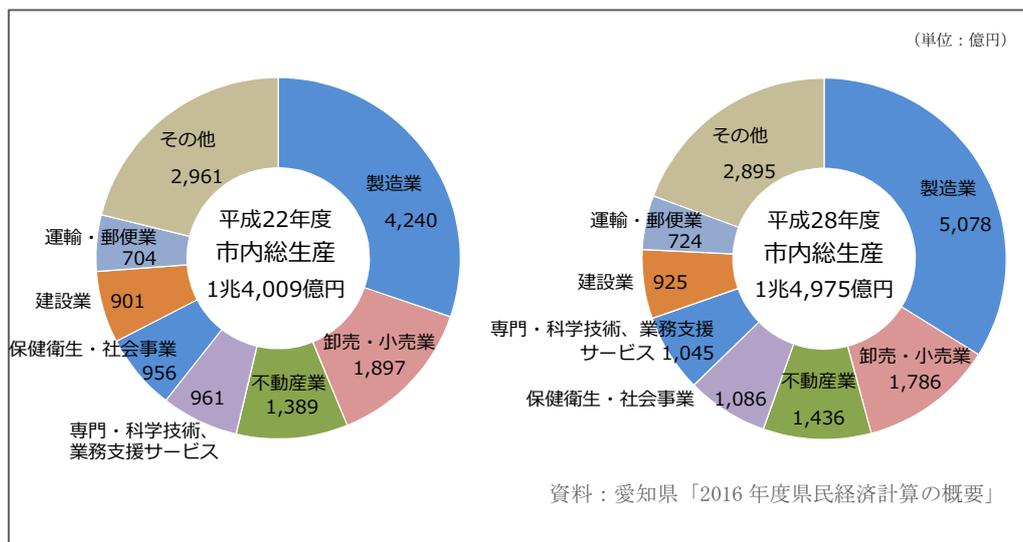
市内総生産（実質）は、緩やかな回復基調にある我が国の景気を背景に全体としてはおおむね順調に推移しています。

### ① 市内総生産（実質）及び経済成長率（実質）



市内総生産（実質）は、全体としてはおおむね順調に推移しており、平成 28 年度は 1 兆 4,975 億円でした。経済成長率（実質）は、平成 22 年度から 28 年度までの平均伸び率では、愛知県全体の 1.8 に対して豊橋市は 1.1 と、愛知県全体を下回っていますがプラスとなっています。

### ② 産業大分類別市内総生産（実数）の内訳の推移



平成 28 年度の産業大分類別市内総生産は、製造業が最も多く、5,078 億円（構成比 33.9%）、次いで卸売・小売業が 1,786 億円（同 11.9%）で、この業種だけで全体の半数近くを占めています。平成 22 年度と 28 年度を比較すると全体の構成比や順位はほぼ同じですが、金額で見ると、製造業は 838 億円（伸び率 19.8%）増加、卸売・小売業は 111 億円（同Δ5.9%）減少しており、そのほかの業種については、ほぼ横ばいか微増となっています。

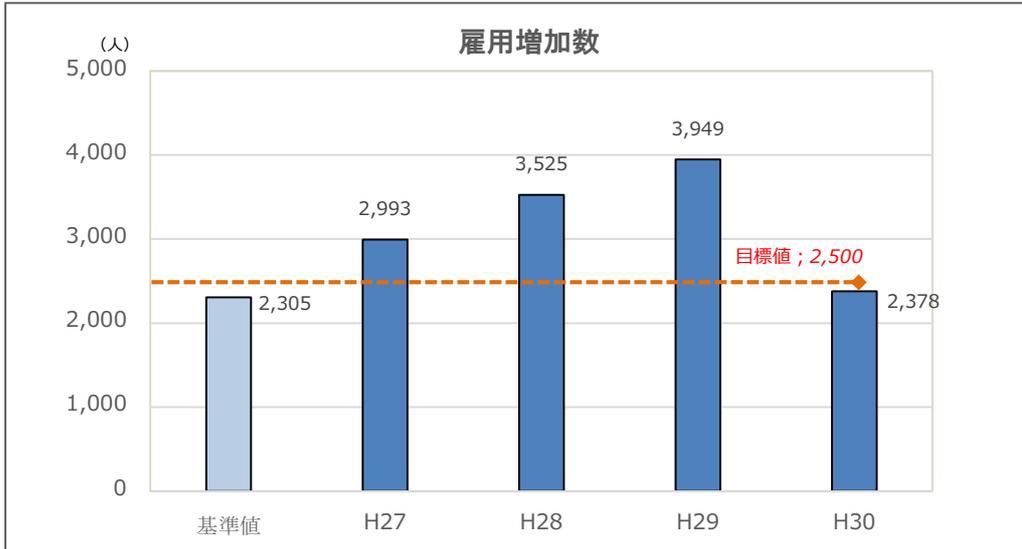
## 2 第2次豊橋市産業戦略プラン指標の推移

### (1) 産業戦略の全体目標

#### ○目標1：雇用増加数

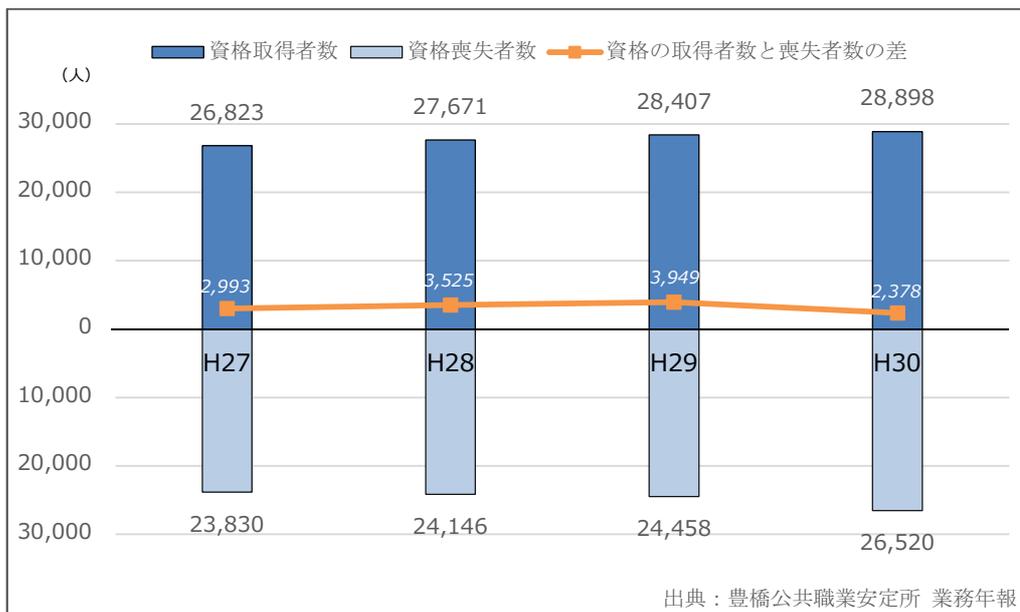
指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
雇用増加数	2,305人	2,993人	3,525人	3,949人	2,378人	2,500人

※雇用保険被保険者数の取得者数と喪失者数の差



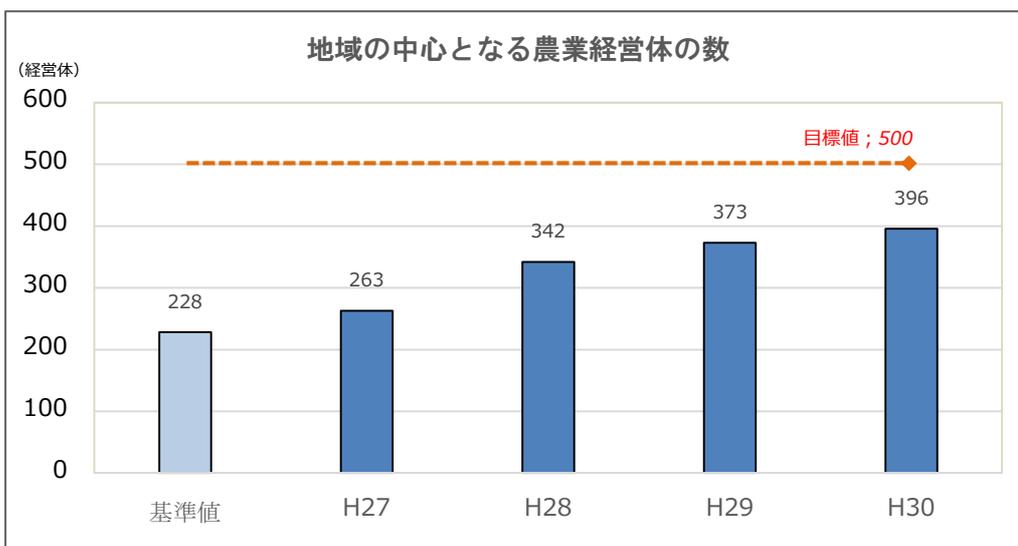
雇用増加数は、雇用保険適用範囲の拡大により急増した高齢労働者が退職した影響から、平成30年度は減少となりました。しかしながら、新規就業者自体は、就業促進事業などの人材確保の取組みや求人需要の高まりを受けて増加（別図：雇用保険資格取得者数及び資格喪失者数の推移を参照）しており、一定の成果が見られます。

#### 【別図：雇用保険資格取得者数及び資格喪失者数の推移】



## ○目標 2 : 地域の中心となる農業経営体の数

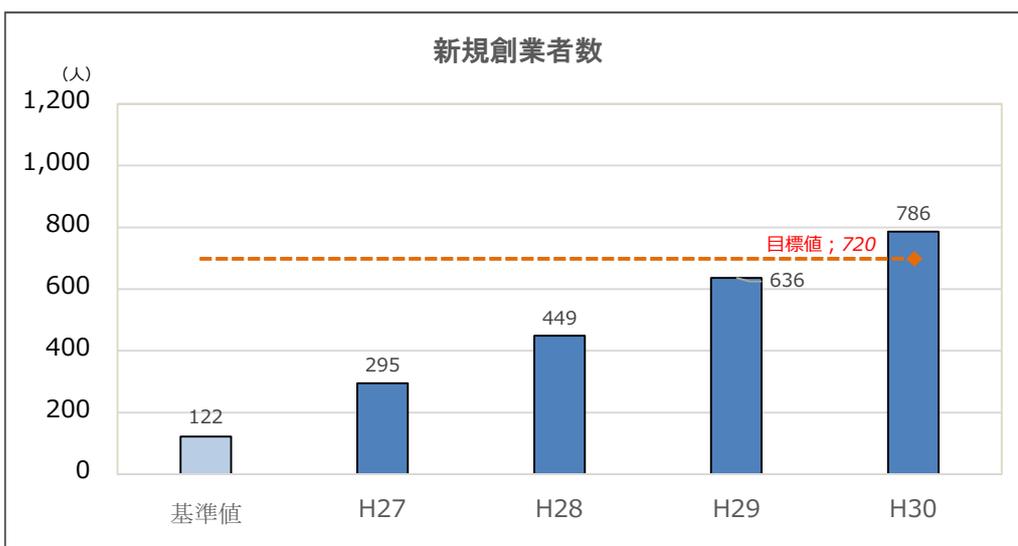
指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
地域の中心となる 農業経営体の数	228 経営体	263 経営体	342 経営体	373 経営体	396 経営体	500 経営体



地域の中心となる農業経営体の数は、就農支援による農業人材の確保や農業経営の安定化などの取組みにより、目標値には届かないものの着実に増加しており、一定の成果が見られます。

## ○目標 3 : 新規創業者数

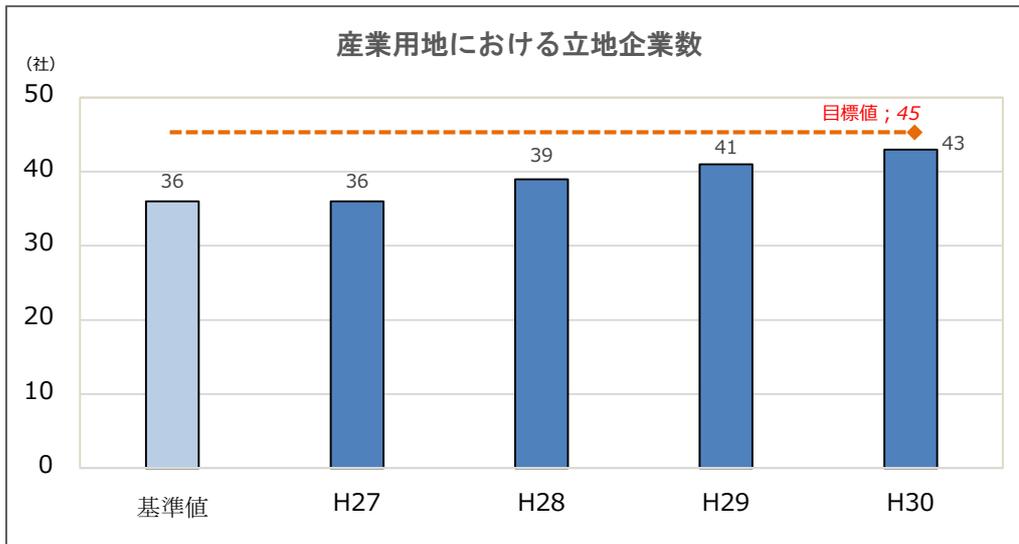
指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
新規創業者数	122 人	295 人	449 人	636 人	786 人	720 人



新規創業者数は、創業しやすい環境づくりなどの取組みにより順調に増加しており、平成 30 年度に目標を達成しました。

○目標4：産業用地における企業立地数

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
産業用地における 立地企業数	36社	36社	39社	41社	43社	45社



産業用地における立地企業数は、企業立地支援策の拡充や規制緩和、東三河5市と連携した誘致活動などの取組みにより着実に実績を伸ばしています。

## (2) 戦略別の主な取組みの目標

### ① イノベーション戦略

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
新産業創出関連事業参加者数	4,609件	4,973件	6,107件	7,751件	12,673件	6,300件
研究開発に対する支援件数	12件	10件	10件	11件	14件	15件

### ② 農工商連携戦略

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
大都市圏等でのプロモーション実施件数	46回	57回	61回	85回	85回	70回
あぐりパーク食彩村（道の駅）の来場者数	464,585人	476,903人	468,315人	450,591人	385,895人	700,000人

### ③ 産業集積戦略

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
新たな産業用地の整備着手面積（累計）	-	-	-	-	17ha	40ha
農業生産基盤整備面積（累計）	109ha	111ha	127ha	141ha	146ha	146ha

### ④ 人材確保・育成戦略

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
産業人材育成事業参加者数	228人	1,589人	3,000人	3,475人	5,097人	2,600人
新たに就農した者の数	16人	28人	17人	41人	40人	43人

### ⑤ グローバル戦略

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
農産物の店頭での重点プロモーション品目数	4品目	5品目	5品目	8品目	7品目	8品目
中小企業の海外展開支援件数	4件	3件	5件	6件	7件	10件

### ⑥ 交流戦略

指標名	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	目標値 (R2)
市内宿泊施設宿泊者数	611,470人	655,509人	695,104人	726,586人	805,498人	770,000人

### 3 策定の方針

#### ○第6次豊橋市総合計画等との整合

上位計画である第6次豊橋市総合計画（令和2年度策定予定）をはじめ、豊橋市都市計画マスタープランなど各分野計画ともすり合わせ整合を図ります。

#### ○外部意見の積極的な反映

外部有識者を中心に構成する策定調査委員会の設置や企業訪問などによるヒアリングでの意見を産業戦略プランに活用します。

#### ○時代の変化に的確に対応できる推進体制の構築

明確な目標を設定し、事業の進捗状況や成果を評価するとともに、時代の変化に合わせて的確に対応できる政策推進体制を構築します。

### 4 今後の進め方

#### (1) 策定体制

